

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆大手銀の日銀預金、3月に23兆円増 マイナス金利解除で

・日銀が16日公表した3月の当座預金残高によると、3メガバンクを含む都市銀行の残高が前月から約23兆円増加し、208兆3940億円になった。金融機関は資金決済を行うため日銀の当座預金口座にお金を預けている。3月16日から4月15日までの平均残高で、当座預金の一部にマイナス金利を適用する政策が廃止されたことで残高が増えた可能性がある。

◆商工中金株、24年度中に売却完了 財務省が入札日程公表

・財務省は15日、政府が46%を出資する商工組合中央金庫(商工中金)の政府保有株式の入札日程を公表した。7月に入札を受け付け、2024年度末までに全株売却を完了する。完全民営化に向けた手続きを進める。売却するのは政府保有分の10億1600万株で、中小企業や中小企業団体などを対象に一般競争入札を実施する。10月11日に落札者を決める。

◆偽ウルトラマンに賠償命令 中国で生成AI著作権侵害

・ウルトラマンに酷似した画像を作る生成AIサービスを行った事業者に対し、中国の裁判所が著作権侵害を認定し、損害賠償などを命じる判決を出した。円谷プロダクションなどへの取材で分かった。生成AIによる著作権侵害を懸念する声もある中、関心を集めそう。許可なく著作物をAIに学習させて生成したとして、サービス停止や損害賠償を求め今年1月に提訴。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆3月首都圏中古住宅、成約件数が2ケタ増 価格は2カ月連続上昇

・東日本不動産流通機構は首都圏(1都3県)の3月の不動産流通市場の動向を発表。首都圏の中古戸建ての成約件数は1349件(前年同月比13.7%増)の2ケタ増となり、4カ月連続で前年同月を上回った。横浜・川崎市以外で前年比プラスとなり、多摩と千葉県は4カ月連続で増加。成約価格は4137万円(同5.7%増)で、2カ月連続前年同月を上回った。

◆下請Gメン330人に増強 中小取引対策予算28億円—経産省

・経済産業省はこのほど2024年度予算の事業内容を公表し、中小企業取引対策事業として、下請法違反の発見、改善指導を行う下請Gメンの数を300人から330人に増強することを明らかにした。予算額は前年度比4億円増となる28億円。下請Gメンによるヒアリングを年1万2000回以上実施、取引実態の把握を強化し、無料で応じる「下請かけこみ寺」運営。

◆銅建値が連日で最高値更新 JX金属、152万円に

・JX金属は16日、銅の国内相対取引の目安となる建値を5万円引き上げ、1トン152万円とした。最大消費国である中国で需給が逼迫するとの見方から、国際価格の上昇が続いている。為替の円安進行も反映した。15日につけた最高値(147万円)を更新した。

《 注目商品 》

■エクソル、狭小屋根に対応する小型太陽光パネル

・狭い屋根面にも設置できる太陽電池モジュール「VOLTURBO(ボルターボ)」の新モデル「XLN56-230SC」を2024年夏に発売。200通りの屋根をシミュレーションして導き出した小型サイズ(1390×768×30mm)で、従来モデルよりもさらに面積の狭い屋根に対応。



■タカショー、人工木デッキの見積りが24時間可能

・ブラウザ上で人工木デッキの自動見積りが無料でできる「デッキ見積システム」をリリース。デッキ商品「エバーエコ ウッドデッキⅡ」「エバーエコ ウッドリアル」の2種類のデッキに対応。設置条件を入力するだけで、見積書、床板割付図、基礎伏図を出力可能。



■ハウステック、奥行49cm・人大製ボウルの洗面化粧台

・奥行49cmのコンパクトな洗面ボウルを採用した洗面化粧台「HVシリーズ」を発売。限られたスペースのリフォームやセカンド洗面に対応するため奥行49cmの人工大理石製洗面ボウルを開発。右サイドに幅約8cmのドライエリアを設けた。

